

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年1月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891900037		
法人名	株式会社 一陽		
事業所名	フレンズ牛久遠山	ユニット名	A棟
所在地	〒300-1215 茨城県牛久市遠山479-1		
自己評価作成日	平成24年8月18日	評価結果 市町村受理日	平成25年1月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0891900037-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年10月23日	評価確定日	平成25年1月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>☆敷地内に野菜や果物を植えてあり、自宅にいるような気分で生活が出来ます。 ☆医療機関との連携により安心した生活を送ることが出来ます。 ☆お買い物やドライブなど外出支援に力をいれています。 ☆地域の方と連携を図り行事参加やイベントを行っています ☆一緒に家事を行うことにより役割や満足感を得て頂ける様援助しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれのペースで自由に安心して生活ができるよう支援しているほか、毎月家族等に送付する広報誌で行事の報告や生活の様子を伝えるなど、家族等とのつながりを大切に考えた支援をしている。 地域とは区長や民生委員、近隣住民、ボランティア、消防団などの協力を得て事業所の行事や避難訓練の実施、清掃や祭りなどの地域活動への参加などで日常的に交流し、相互に協力し合う関係を築いている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	草むしりやイベントなど地域の行事に参加し、普通の生活が送れるよう理念を掲げている。出勤と同時に理念が確認できるようにしている	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、職員が出勤時に確認ができるよう玄関に掲示しているほか、全職員が印刷した理念を自宅で保管し、いつでも確認ができるようにしている。管理者と職員はカンファレンスやミーティング時に理念を読み合いながら共有し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々とねん2回イベント計画を作成しホームで実施したり河童祭りなど地域の方達と参加している。	自治会に加入し、利用者と職員で草刈りや清掃活動、祭りなどの地域行事に参加しているほか、近隣の小学校に雑巾を寄付したり、運動会の見学に行くなどで地域と交流している。 年2回事業所が主催する「地域と家族の交流会」は、テントの設営から模擬店の準備などを地域の人々と協力し合いながら開催し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 月に4回から5回オカリナや大正琴、津軽三味線の演奏や傾聴などのボランティアを受け入れ、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者・職員により雑巾を作り市内小学校に利用して頂き交流を図っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を実施し民生委員や地区長や利用者家族と話し合いサービスの向上に努めている	運営推進会議は年6回開催しているが、毎回市職員の参加を得るまでには至っていない。 会議では事業所から利用者の生活の様子や運営状況の報告などを行うとともに、出席者で活発に意見交換を行い、出た意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。 家族等の協力を得る手段として、「あらかじめグループ分けして行事を割り当て、協力の依頼をしたらどうか」との意見を受け、試みているところである。	開催日程などを調整して運営推進会議に毎回市職員の参加を得ることが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者の訪問受け入れ、実情やサービスの把握をして頂き困難なケースなど、アドバイスを頂き信頼関係を築くよう取り組んでいる	市担当者を利用者の入退去状況を連絡して連携を図ったり、パンフレットを置いてもらうなどで協力を得ている。 利用者への対応や困りごとの相談などで市担当者を訪問するほか、年に1回から2回市担当者の来訪により協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設敷地内を自由に歩いたり施錠しない開放的な生活が送れるよう取り組んでいる	身体拘束や行動制限を行わないことを契約書に明記するとともに、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 身体拘束の弊害についての勉強会を開催したり、身体拘束廃止に向けた啓発のポスターを事務室に掲示して意識付けをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	インターネットで虐待について調べ職員全体で周知し虐待がない様取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法務省が作成しているパンフレットを貼ったり日頃から必要性について話し合う環境を作っている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時内容をしっかり説明し理解して頂いている。また、分からない点にいつでも対応できるよう体勢を整えている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族の意見は、常に取り上げている	利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めている。 介護相談員を受け入れたり意見箱を設置しているが、家族等へのアンケートを実施するまでには至っていない。 契約時の重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に掲示している。 出た意見等は全職員で話し合っ改善に取り組むなど、運営に反映させている。	前年度の外部評価結果の課題であった「家族等へのアンケートの実施」が達成されていないので、引き続きその実現を期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が職員のお券を取り上げ運営者に報告し業務の改善に反映させている	管理者はミーティングやカンファレンス時に職員から意見や提案を聴く機会を設けるとともに、日頃から何でも話し合える関係づくりに努めている。 週1回職員が直接運営者側に意見等を出せるよう法人の事務長を交えて会議を開いている。 出た意見等は利用者への支援に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が職員の個々を把握し運営者に報告しやりがいある職場作りに取り組んでいる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や免許を取得する情報を収集し参加できるよう働きかけている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者からの催しなど、ご案内に積極的に参加し交流できるよう努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新利用者様には不安なく安心した生活ができるよう働きかけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅で介護している家族の立場に立って接し要望等出来るだけ受け入れ心配なく利用して頂ける様頻回に話し合っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族と話し合い何が必要なのか優先を見極め対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に散歩したり食事をしたり普通の暮らしが出来るよう努力し信頼関係を築いている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を支える一員になり家族と共に対応している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物に出かけたり友人の施設訪問をおけいれたり今までの関係が継続できるよう配慮している	職員は利用者の馴染みの店での買い物と一緒に出かけたり、行きつけの美容室や選挙投票への送迎、利用者の自宅周辺へのドライブを支援するとともに、家族等の協力を得て親戚の集まりや墓参りなどに行けるよう支援している。 職員は手紙の投函や電話の取り次ぎ、来客時のお茶出しなどを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に入浴したり利用者同士が楽しめるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了したご家族にも訪問などしていただいている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴を把握し本人の希望を尊重した計画を立てている	管理者や職員は利用者の生活歴を把握しているほか、日々の係わりの中での会話や行動を観察しながら利用者の思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な利用者の場合は表情やしぐさから判断したり、家族等から情報を得ているほか、職員で話し合っって利用者の思いなどを汲み取るよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人及びご家族から情報収集しサービス利用の経過など把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の変化を見逃さず状況の把握が出来るよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスなど行い状況に即した計画を作成できるよう努めている	介護計画は利用者や家族等の希望を聞いて作成し、3ヶ月毎に見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直している。長期目標は3ヶ月、短期目標は1ヶ月から2ヶ月に期間を定めるとともに、毎月モニタリングを行って現状に即した介護計画を作成し、その都度家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケア記録に残し情報を共有し実線に生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別に散歩を実施したり外出支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアのオカリナや大正琴を招きメリハリのある楽しい生活が送れるよう心がけている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外に眼科や歯科など個別の要望も受け入れている	週1回協力医療機関からの訪問診療を受診できる体制となっているほか、利用者や家族等の希望にそってかかりつけ医への通院や往診を支援している。 週1回協力医療機関の看護師が来訪して全利用者の健康管理にあたっている。 受診結果は電話や毎月の便りなどで家族等に報告するとともに、受診ノートに記録している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員に日々の状況を伝え体調の把握に努め適切な判断のもと対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	頻回に病院に出向き状態を把握するとともに病院職員の方との連携を図っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者が重度化した場合や終末期を迎えた場合、看取り看護の説明書や同意書を作成し対応している	「看取り介護に関する指針」を作成し、利用者や家族等に説明して同意を得ている。看取り介護についての職員研修を実施するまでには至っていない。	前年度の外部評価結果の課題であった「看取り介護についての職員研修」が達成されていないので、引き続きその実現を期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応などマニュアルを作成し取り組んでいる		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者を置き年2回訓練を地域の方にも参加して頂き実施している。災害に併せた物品の準備もしている	消防署立会いの避難訓練を年1回実施しているほか、事業所独自に昼夜を想定した避難訓練を実施し、その時の状況や反省点などを話し合い、記録に残している。避難訓練には地域住民6名から7名や消防団員が参加しており、地域との協力体制を築いている。災害時に備えてレトルトのご飯やカレー、缶詰、水、ランタン、おむつなど3日分を建物外の倉庫に保管している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いやプライバシーに配慮し接している	管理者や職員は利用者の呼び方や言葉遣いなどに気を配り、利用者が言われたくないことを言わないよう意識するなど、利用者一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。 体操やゲーム、カラオケ、クイズ、ボール遊びなどのほか、新聞や雑誌を購読して利用者がやりたい時にやりたいことをして過ごせるよう支援している。 個人情報保護方針を定め、個人情報の使用に際しては利用目的を明示して家族等に確認を得ているほか、個人ファイルを事務室内の机の引き出しに保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の話に耳を傾け希望を抽出できるように心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設内を開放し庭いじりや散歩など出来るよう心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容や買い物など実施。イベントや外出時は特に取り組んでいる		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの記入、下ごしらえ、後片付けなど一緒に行い食事を楽しんでいる	食材はカロリー計算された献立を基に外部調達をしているが、自家菜園で収穫した野菜や果物を利用して品数を増やしたり、誕生会や節句などの行事にちなんだ行事食や仕出し弁当、外食などを取り入れて食事が楽しみなものになるよう工夫している。 利用者の苦手な品は代替品で対応したり、咀嚼能力に応じて調理するなど、一人ひとりの好みや状態に合わせた食事を提供している。 利用者は個々の力を活かしながら野菜の皮剥きや刻み、テーブル拭き、下膳などを職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取力や好みなど一人一人の把握に努め必要量の確保を心がけている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食を口腔ケアを心がけ歯科衛生士による指導を仰いでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はほとんどトイレへ誘導している。夜間はここに合わせPトイレ設置など対応	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握してトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。 夜間の場合もトイレ誘導やポータブルトイレ利用で、なるべくおむつを使わないよう支援している。 失敗した場合はさりげなくトイレや風呂場に誘導するなど、利用者の自尊心を傷つけないよう配慮した対応をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動や水分摂取を心がけ、摂取表を作成しコントロールしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴する順番を変えたり本人の希望に合った入浴ができるよう配慮している	風呂は毎日沸かし、2日に1回を目安に入浴日を設定しているが、利用者の状態や希望にそって入浴日や時間帯を変えたり、シャワー浴や足浴などで個々に応じた支援をしている。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、職員や時間帯を替えて声かけをするなど、工夫して入浴ができるよう支援している。 脱衣室に椅子を配置したり暖房器を置き、利用者が快適に入浴ができるよう支援している。 柚子やみかん、菖蒲などで入浴に季節感を取り入れたり、入浴剤などで変化を付けて入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使用しなれた寝具を使い安心して眠れる環境を作っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬の説明書を個々にファイルし用法や用量の確認がいつでもできるようにし、変更があった場合申し送りノートや受診ノートに記入している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケや野菜作りなど楽しんで頂いている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、ドライブなど外出支援に取り組んでいる	天気の良い日は庭での散策や日光浴、テーブルと椅子を設置してお茶の時間を楽しむなど、利用者が気軽に外気浴ができるよう支援している。 近隣の公園で桜や菖蒲、コスモスなどを観賞したり、ドライブをしながら大仏見物をするなどで外出する機会を設け、四季の移り変わりを肌で感じたり気分転換ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出した際自己にて支払うなど出来るだけ自分で支払えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも自由に電話を使用でき、手紙を書ける環境作りをしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、開放的で自由にできる空間作りをしている。	玄関や廊下、居間などには季節の花や行事を楽しむ利用者の写真が飾られ、家庭的な雰囲気居心地のよい場所となっている。 居間の壁面に避難路を掲示したり、利用者が迷わないよう工夫した「便所」の表示があるほか、あちらこちらにソファや椅子を置き、利用者の安全に配慮した共用空間となっている。 ニラやトマト、茄子、きゅうり、西瓜、南瓜などを収穫できる自家菜園は、利用者と職員が共同で作業したりコミュニケーションを図る場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の固定されている席のほかに、テレビ前や玄関にソファを置き自由に利用できるようにしている	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	鏡台やテーブルなど使い慣れた物を居室に設置し個々とよく過ごせるよう工夫している	居室にはベッドやテレビ、冷蔵庫、鏡台、タンスなど利用者の馴染みの物品や、ぬいぐるみや位牌など大切な物品が持ち込まれているほか、家族の写真や季節の花、職員手作りの作品が飾られ、寛いで過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室に手すりを設け出来るだけ安全に移動できるよう配慮している	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○ 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 フレンズ牛久遠山

作成日 平成25年1月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り介護についての研習が達成されていない	職員全員に意識づけ出来る様取り組む	看取りのDVDを購入し全職員で観・話し合う場を設け施設の方針を確認する	3ヶ月
2	4	開催日程など調整して毎回市の職員が運営推進会議の参加を得る	市の職員の方と連絡を密にする	あらかじめ運営推進会議の日程を伝え調整していただく	2ヶ月
3	6	運営に関する家族のアンケートが実践されていない	具体的なアンケートを作る	毎月発行しているフレンズ新聞にアンケートを記入し意見や要望を取りまとめ反映させる	3ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。